

深町めいしゅう 作品説明

1	Favela	<p>多くの犯罪の温床となっているブラジルの貧民街 Favela.</p> <p>しかしそのような街であっても他と変わらない多くの家族の日常があり子供が遊ぶ街でもあるのです。外部を寄せ付けない厳しい環境であっても朝になれば全ての人に生命を与える太陽は昇る。私はそんな思いを太陽の下平和な街を一人歩く子供を描きたかったのです。すべてはこの少年を描く為の背景なのです。</p>
2	Strange days	<p>The DOORS のアルバムからのイメージを人の顔で描いてみたいと思ったことからはじまりました。紙を切って貼る。僕の絵は顔を描くにはある面難しい題材、モチーフです。怖くなったり不気味になることが考えられるからです。それをおさえる意味でもクラウン（ピエロ）という顔として描いてみました。</p>
3	Sunflower	<p>ひまわりが好きだ。高校生の時に観た映画“ひまわり”、そのイメージをどうしても絵にしたいと思った。整然と並ぶ圧倒的なひまわりのパワーとそれでいて何とも言えない静寂。花びら一枚一枚を丹念に貼ってひまわりの群生を表現したかった。</p>
4	Back alley	<p>外国のとある街の路地に何軒も軒を連ねる革靴の店。</p> <p>職人たちの話が聞こえる。そんな場面を描きたかった。</p>
5	石橋	<p>アンナ・プルナ街道のトレッキングコースを回る地にある石橋。</p> <p>現地の女性たちが大きな籠を頭に載せて運ぶ姿、そして河を渡す石のつり橋を支える太い鉄ロープの力強さを描いてみたかった。</p>
6	少女	<p>大好きな写真家“サルガド”の作品の中ではにかむ村の少女。</p> <p>どうしても描いてみたくなり点で少女の顔を描いてみました。</p>
7	新宿ゴールデン街	<p>よく遊んだゴールデン街への想い。今でも何人かの友人がお店をしています。</p> <p>眠らない街の怪しげな看板が楽しい。</p>
8	Wind	<p>匂いたつ</p> <p>夕陽に包まれる黄金色の麦畑</p> <p>強く吹く風</p> <p>たわわに実った麦の穂の揺れたなびく音 と 風の音</p> <p>その前に佇む自分</p> <p>そんな時を描きたかった</p>
9	路地の一瞬	<p>この風景も特定の場所ではありません。古い路地での一瞬のすれ違い。アパレル時代にグリーティングカードやコレクションの案内のために描いたものです。</p>
10	窓のむこうに	<p>何作か描いた窓のシリーズのひとつ。この作品は釧路に帰っているときに釧路港を描きたくて窓の外の風景として描きました。</p>
11	SoHo	<p>私が貼り絵画家としてデビューしたのはニューヨークでした</p> <p>初めての個展を開いたニューヨーク。その時 SoHo にある友人のアパートの屋上から見た風景です。色々な事が起こり未完なのですが、これがいいと云う方が多く今でもそのままになっています。</p>

12	消えない蠟燭	一本のローソクに写し出される色々な思い。 炎は人を不思議な生物にする。 人は消せないローソクであり、消えないローソクである。
13	Mother	全ての母が思い願うことは子供たちの幸せであり、 全ての子供の思い願うことはいつまでも側にいてくれる優しい母。 少し遠目でみると母はちょっと心配そうな眼差しで私をみている。 近くでみる母の眼差しはつつみこむ優しい愛です。 この絵はすぐそばにいつもいてくれる普段のままの母を描きました。
14	赤い太陽・II	太陽は僕のアイコンで今までに何作も描いています。これは 2019 年秋新潟での個展のために描いた作品。
15	黄色い太陽	G. Freak. Factory というロックバンドの CD ジャケットの為の作品です。
16	黄昏	ある証券会社のキャンペーンの為の作品として描きました。この作品が多く表現の幅を教えてくださいました。
17	From here A	伝説のロックバンド“キャロル”のギタリスト内海利勝の CD “From here” ジャケット表面。
18	From here B	CD “From here” ジャケット裏面。
19	スターダストクラブ	本当に初期の作品で道具等も知らず、グラフィック用のカッターなど使わずに描いていました。
20	全てはここから始まった	アパレルのグリーティングカードとして僕が手掛けた最初の作品です。ここから貼り絵が始まりました。
21	Asia trilogy (河)	タイ・ベトナム・カンボジアなどの国々。小舟で物を運ぶ女性たち。アジアの情景を描きました。
22	Asia trilogy (少女)	草を食む水牛の背に乗る少女の何となく微笑んでいるような一瞬。
23	Asia trilogy (老人)	ホーチミンの老人。初めて人物の顔を描いた作品。
24	夜のひまわり	新作 2019 年アメリカンクラブでの個展をご覧になった方のご依頼で、1 年 2 か月をかけて制作した作品。 今回お渡しする前に皆様に観ていただきたいと思い展示します。
25	田園	新潟のワイナリー「フェルミエ」の依頼で新作の白ワインのエチケッのために描いた作品。 2020 年 7 月公開
26	夕陽	新潟のワイナリー「フェルミエ」の依頼で新作の赤ワインのエチケッのために描いた作品。 2020 年 8 月公開
27	赤い太陽・III	新作 大きな太陽が見たいという欲求から、LADS ギャラリー出展のために 2020 年夏描いた作品。

/ 2020 年 8 月 25 日～9 月 6 日 LADS GALLERY